

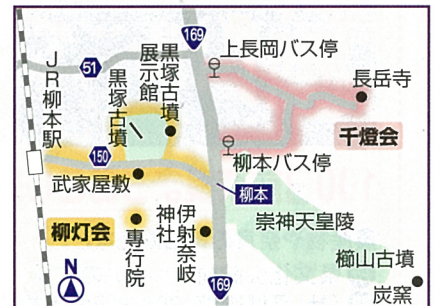
隠れた奈良の魅力再発見 とっておきの奈良

vol.16

シルバーパワーで 町の魅力を 元気に発信！

天理市柳本地区

「柳本もてなしのまちづくり会」



「奈良もてなしの心推進県民会議」では、生き生きとした生活や交流を育むまちづくりを実践している地区を、「もてなしのまちづくりモデル地区」として認定。天理市柳本地区もその一つです。



手作り行灯には、和歌や美しい絵が描かれたものも。

竹炭、花炭を焼く窯の前で。窯は、竹の有効利用も兼ねて会員で手作りしました。

第6回柳本柳灯会

大正琴、二胡(にこ)などの演奏も。もてなしの会特製の手作り行灯が幽玄の情景をつくります。

時 9月19日(土)・20日(日)17:00点火～21:00終了(雨天中止)

所 黒塚古墳周辺(JR柳本駅前・柳本公園・

専行院(せんぎょういん)・伊射奈岐(いざなぎ)神社を含む)

問 柳灯会実行委員会 ☎0743・66・1014(永田)

*両日共「山の辺のあかり」として長岳寺(ちょうがくじ)千燈会(せんとうえ)も同時開催。



暗闇に前方後円墳のシルエットが浮かび、幻想へといざなう。



予約待ちという、人気の花炭。レンコンやひょうたん、かぼちゃなど、おなじみの野菜が目にも楽しいオブジェに。

邪馬台国の女王・卑弥呼の鏡との説もある三角縁神獣鏡が大量に出土し、TVドラマ「鹿男あをによし」にも登場するなど話題を呼んだ黒塚古墳。周辺はいつも美しく整地され、訪れる人の目も心も楽しませていきます。それも「柳本もてなしのまちづくり会」の皆さんの尽力があつてこそ。「柳本のシンボルとも言える場所。訪れる人の笑顔がこぼれびです」と語るのは会長北村泰清さん。

「山の辺の道」の真ん中に位置する柳本の、豊かな歴史に彩られた魅力を発信しています。その最大の活動

が、中秋の名月頃に毎年開催する「柳灯会」。黒塚古墳の周辺を3,000個以上の灯火で照らします。「周辺が暗く、古墳の情景が浮かび上がるので、『なら燈花会』とはひと味違った幻想的な光景が広がります」。当日は、古墳を舞台に土笛などの演奏で悠久の音色が奏でられ、影絵などの催しも。「年ごとに創意工夫を重ね、皆さんの協力を得て盛り上がっています」と北村さん。

このほか、地元の良いさを発信・発見する写真展や歴史勉強会、炭焼き窯まで手作りして焼いた竹炭やユニークな花炭づくりも評判です。会員は70歳代の定年退職者が中心。どの活動も、会員の知識や経験を生かし、楽しく発展させています。「住んで良かった、また来たい、と思ってもらえる。そんな町をめざしています」